成人向け
R18
ADULT ONLY
18歳未満
購入・閲覧禁止

おいおい
真月ク～ン
やっぱテメェ
下手くそだわ

おい
ケンカ
するな
ベクター

交代しようぜ
交代

そんなん
いつまで経っても
イかせらんねぇぞ～？

ズッ

ぎゅっ

ぬぬ

そっ
そんなこと
ないですよ！
ね？
ドルベ先輩

びくんっ
…っぅ…

ベクターの乱暴な
触り方なんかより
こうやって
優しくされた方が
気持ちいいですよね？

あっ!?

ぬりゅ

ぬちっ

ぷる
ぷる

バーカ
コイツは
ちょっと痛いくらい
の方が好きだっての

びくんっ

なァ？
ドルベ♡

ぐぐぐ

…っ!!

—3週間前

チ2ン
チ2ン
チチ…

ん…
ぱち
ジーん
ジーん

ぎゅ

妙に寝苦しいと思ったら…
またあの悪い夢でも見ているのだろうか

ベクター
起きろベクター

おい 大丈夫…
ん〜
あと5分〜…

ゴツン
ゆさ
ゆさ

!?

うーん
うーん
!?
むにゃ
むにゃ

ベ…ベクターが…!

2人…!?

なんだ
なんだ

——で？

なんなんだテメェは？

はいっ！

ボクは真月零と申しますっ！

以後お見知りおきを!!

…おいドルベコイツは何の冗談だ？

私に聞くな

キミが生んだ分身ではないのか？

オレにもうそんな力ねーよ

それもそうか…

ならば一体彼はなんなのだ

ソンなもんオレの方が知りたいんすけどオ？

ドルベさんかわいいんですねー なんだかはじめて会った気がしませんー！ ゆっくしていってください

あ、まあ…。

…そのくせドルベにミョーに懐くわ

オレのことをもう一人のボクだのなんだの抜かしやがって気に食わねェ

バリアンや前世についてはなにもいってくれないということくらいしか分からなかった

ヤツが『真月』としての記憶と人格を持っているということと

—結局何を聞いても大した情報は得られず

結局その日は
ソイツを残して
学校へ行った

今日くらい
サボってもよくね？

ダメだ
ナッシュたちに
心配をかけてしまう

チッ

帰ったら誰もいなくて
「アレは夢だったんだな」
なんて笑い飛ばせりゃ
よかったってのに

笑えねェことに
3週間経った今でも
『真月』はここに
存在している

ーアイツの正体は
未だ謎のままだ

ガチャ

なんだ今日は
いつもよりはえーな
おかえり
ドルベちゃん

ただいま…

ーん？

待て
キミは今日
補習の筈だろう
何故私より先に
帰宅を…まさか

ウソ

気付いて
なかったのかよ？

そーだよ
最近じゃあ
ガッコーはアイツに
任せて
オレは悠々自適に
おうちでお留守番
ってワケ

姑息な手を…

ベクター
ズル休みは
感心しない

そこかよ

いーだろ別に

ハッ

…学校(あそこ)は元々

真月(アイツ)の場所
なんだからよ

……ベクター？

…フン

ところでお前さぁ
いつまでアイツの面倒
見てやるつもりだよ？

あんな得体の
知れねェモン
野垂れ死なせときゃ
いいだろ

それとも
何かァ？

ドルベ

テメェも

あっちのオレの
方が好みかよ？

まあ確かに…

彼の方が素直な分可愛げはあるな

…

だが私は最近…

そうやって意地を張っているキミのことを可愛らしいと思うようになってきた

…は!?!?

なん…っ!?!?!?

ガッ

私にとって零もキミも等しく放っておけない存在だということだ

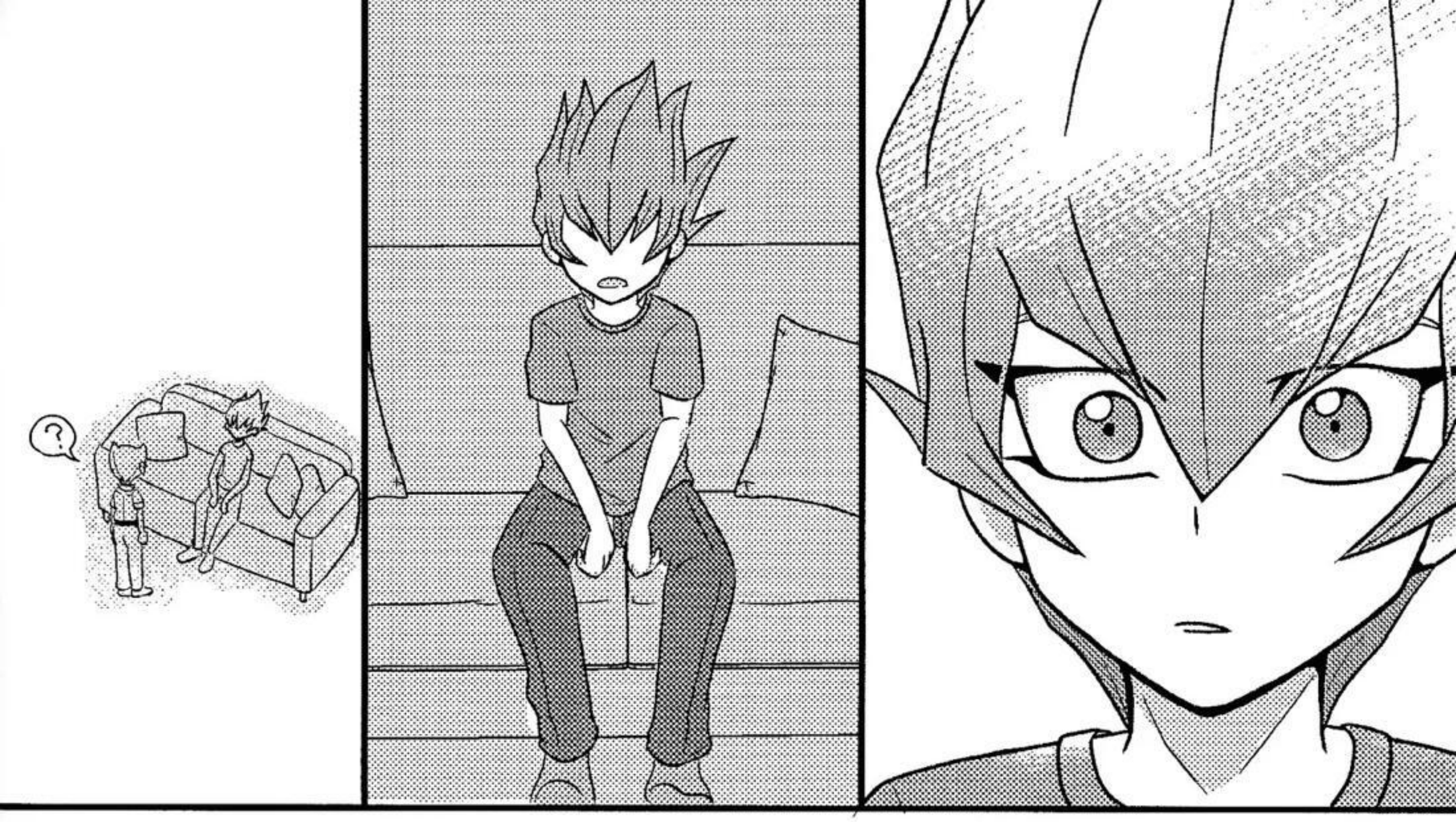
サラッ

?

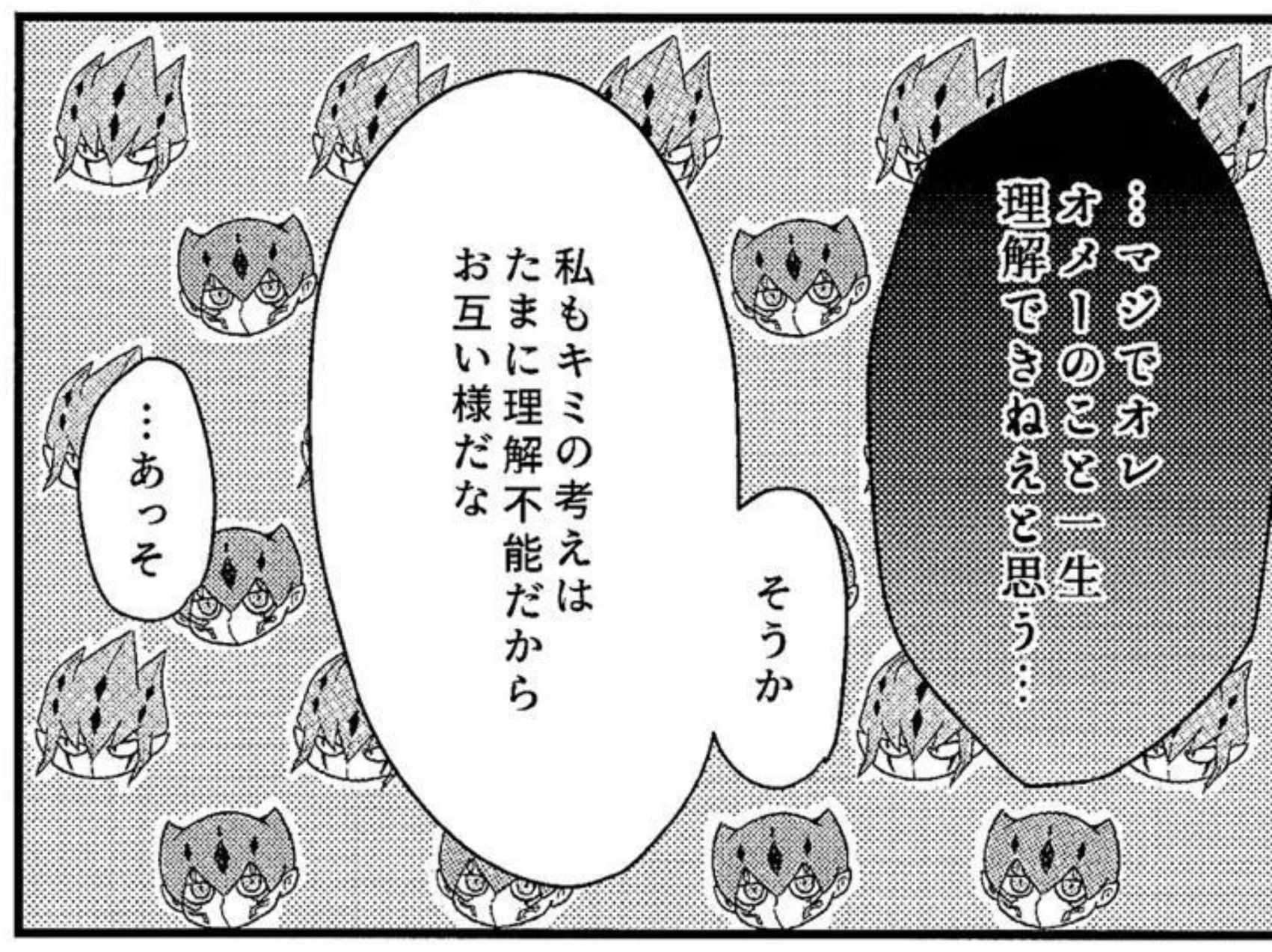
というか…彼もキミの一部なのだろう？

同じ人間の一つの側面にすぎないのだから

どちらが好きかなどと選ぶ必要はないのではないか？


?

……


…マジでオレ
オメーのこと一生
理解できねえと思う…
そうか
私もキミの考えは
たまに理解不能だから
お互い様だな
…あっそ

なぁ
!
グ
ド
うわっ
ビヤー

久しぶりにシよーぜ♡
ぐぃ
ぎゅ
ドルベ
は…!?
だよの
ぐりぐり
…今の流れでなぜ…
ん～？
オレがシたくなったから♡
いーだろアイツ来てから全然してなかったし
ヒョイ
あっ
コラ…
ちゅ
ちゅっ♡
すり
…はぁ
相変わらずきまぐれだなキミは…
んむ
んふふ

ん
ちゅ
ふ…
ちゅう
ぬる
ぐい
っあ
ちゅっ
はぁ…っ
ぴくっ

ちゅ
ちゅっ
ちゅっ
っおい
痕をつける
のはよせと
言っ…
いつも
びくんっ
うあ!?

ぞくぞくっ
まっ
待て!
ほ…本当に
するつもり
なのか…
トーゼン♪
はぁっ
さわさわ
つーか
ここまで来て
お預けとか…
テメエの方が
辛いんじゃ
ねえの?
ニヤ
…っ…
かぁっ
!!
べっ

わ…
わかった

だが
せめて
ベッドに…

イチャ
イチャ♡

え～？
どーしよっかな～

ガチャッ

!!

真月零！
たっだいま
戻りました～!!

じゃじゃ～ん！

聞いてください
今日の補習テスト
満点だったんですよ！
右京先生に褒めら

れっ…!?

ぱたっ

…っ！

かぁぁぁっ

いーところで…
クソ

すみません!!

おっ…お取込み中…だったんですね…!!

すごいえっちな顔してたぞ!!

ムスー

カチャ

……

なっ

なんでもない…!

すまないベクターどいてくれ

ピーン

!

聞いてるのかベクター

ニッ

ガシッ

イイこと考えた♡

うわっ!

喜べ真月!

テメェも混ぜてやる

は…!?

ドッ

ふざけるな!何を言い出すんだ

はーいはいちょ〜っと黙ろうなぁ〜

どうだ真月?オメーも興味あんだろ?

ピキ…

…っ…

ッッッ
もじもじ
…っ
…

ッッッッッッ
コクン
ひゃはは！
素直でよろしい♡

ほらァ真月クンも混ざりたいってよ
仲間外れはよくないよなあ～？

それにおテメェが言ったんだぜ？オレとアイツが同じだって
オレとお前はお付き合い♡してててアイツはオレなんだから
別にそーいうコトしたって問題ねェだろ～？
それは…確かに言ったが…

…っ…
チラ…
ぱち
？

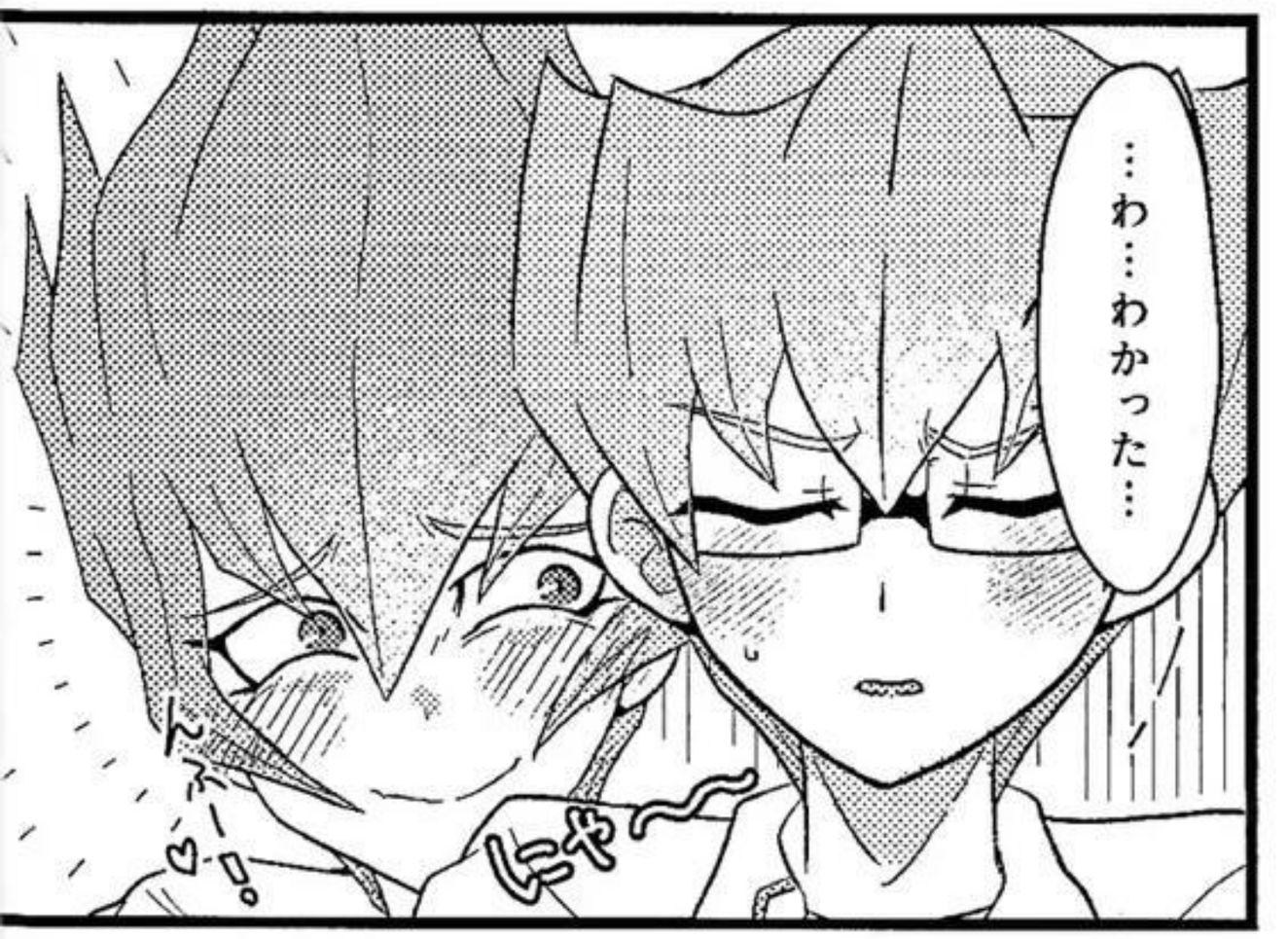
いや…やはり零にこういうことはまだ早いのでは…
？
なんだそりゃ
母親かテメーは？
…ったく往生際が悪ィな
オイ
テメェも口説くの手伝えや
へっ!?
は、はい…

ス…

ピロ
おい…
零…！

ごめんなさい
ドルベ先輩…
でも…
ボクも先輩に
触れてみたい
それにもっと…
色んな顔を
見てみたいです
…混ぜて
もらっても
いいです
か…？

く…っ
う……
じー


…わ…わかった…
にゃ〜
んぷー！

—そして
現在
っあ
あ…！
はっ
ぬちゅ
ぐちゅんッ
はぁッ

じ～っ…

うぁ…ッ！

待っ…！

やめ…っ

零…っ！

ぐぃぐぃ

ぐぃぐぃ

ぐぃぐぃ

オイ
真月ゥ〜

次から止めなくていいぜ？

コイツの「やめろ」は「もっとして」だからよ♡

は…!?

ガバッ

えっ!?

そうっなんですか？

キラキラ

ぴすぴす

違う!! ベクターい 勝手なことを言うな!!

零

キミも聞かなくて、

うーん…

言われてみれば…さっきちょっと物足りなさそうな顔してましたよね

じ…っ

ドルベ先輩

なバカな…ッ!?

ファァァッ

真っ赤になってるのかわいい…♡

どくどくっ

ごめんなさい先輩

ばっ

今度は…

ちゃんとしますね…♡

なぁ

あ

びくんっ

待てい

零…っ！

スポ…

ッ♡

…ククッ よかったなァ ドルベ〜♡

ひゃひゃ

にまぁ

あ〜イイ！ そのカオしたまんねぇ〜♡

ぎゅ〜

ふる

ふる

〜〜っ…!! ベクター 貴様…ッ！

おーこわ（笑）

んな怒んなって♡

ぎゅっ

アっ！ いい！？

びくんっ

こっちも ヨくしてやるから 機嫌直せよ

くりくり

もにもに

っは、あっ！

ぴくっ

なァ？♪

〜っ！ こ、の…っ

〜い…

いつもより やりづらい…っ!!

くの字

悪意ない分 叱りづらい 真月

良かれと 思って いっぱい 気持ち良く しますね♡

意地の悪さ 3割増し ベクター

ケケケ

ええへ

#

2人ともいっぱい 良からぬコト できんじゃぁ〜ん♡

♪BGM：この世界の戦い

ぅあ！
あ、は…ッ
ぶるッ
はッ
は…
はぁッ
ずちゅ
ずちゅ
びくッ
びくんっ

…完全に彼らのペースに乗せられてしまっている…！
ぬちゅっ
このまま調子に乗らせるのは危険だ
なんとかしなければ
ぐぱっ
ぐぱっ

それに…抱き抱えられていると身を捩ることすらままならない…
ビクッ
快感を逃す術がない…っ…
まずいっ

…っは
あ
しぱちゅっ
っ、ベク
タぁ…っ
ちゅぽっ

ン～？
なーにどしたのちゃん
その…この体勢嫌だ
降ろしてくれ…
ぼぉ

…あ？
ぞくッ

…なんだよオレのバックハグはお気に召しませんってかァ？
ぎゅうう
あ～あ～傷つくわァ～
いやそうではなく…

ばぞ…
身動きがとれないと…
気持ちよくなりすぎてしまいそうで怖いんだ
は？何だそりゃエロ
!?

…ふーん？
にや～♡

…ほんっとうにバカ正直だよなテメエはよオ

ンなこと言われて離すわけなくね？

ビクビクッ

あッ!?

むしろもっとイジめたくなっちまったなぁ♡

…っ…!?

え…？

な

あっ

ぺろんっ

ちゅ

ちゅ♡

ちゅ

ぺろ

ベクター！

やめ…っ

お前意外と背中弱いのな

ヒュッ

ひぅ…ッ!?

んぃッ♡

ぞくぞくっ!!

新たな弱点みっけ～♡

わっ

すご…いっ

締まっ…て…！

はっ

はぁ

イッ…

あッ

も

びくんッ

びくッ

っッ!!

っうぁ…！

ドン

ちゅ♡

すまぁ…

ん…っ

ぴくんッ

はぁ…

はっ

はぁ…っ

ぎゅうぅぅぅ

ニヤ〜

ぴくっ

なで

なで

ふる

ふるっ

はぁ

おいおい どうした ドルべえ〜 もう へバっちまった のかァ〜？

…うるさい…

はぁっ

ガシッ

…キミが…っ 降ろして、 くれないから…

え

ぐいんっ

…!? 待っ

あらら こらら〜？

!!

なんっ で…っ!?

ビクビクビクッ

ぱちゃぱぢ

……

待っ…!!
零、やめろ…っ
ふるふる
はっ
い、今…
…イった、ばかりで…っ
敏感になって、いるから…っ
はぁっ
きゅうっ

ふふ…それって
先輩流のおねだりですか？
にこっ
…もっとって♡
スゥッ

ッちが
ぁあッ?!
やぁぁ…っ！
とりゃの
ばらんの
わく
わく
それでこそオレ♡もっとやっちまえ真月クンよオ！
おいおい！なーんかよからぬスイッチ入っちまったみたいだなァ!?
ばたっ
ふざけ…うあっ!!
ぶるぶる

ほぉら
前も触ってやるよ♡
ぞくぞく
ひッ!?
ぁぁッ！
今むり…ッ！
ぐちゅッ♡

そん、なっ
ぱち
ぷるっ
ふぁ…っ♡
ぱちっ
ぷるっ
ぷるっ

あは…
先輩とろとろでかわいい…♡
ゾクッ…♥
はぁっ

ね…ドルベ先輩

はぁっ♡

はぁ

どこが一番きもちいですか？

…？あっ

びくっ

…わ わからな…

ぴくんっ

ひぁ…っ！

んふふ…

もうぜ～んぶ気持ちイイんだもんなあ？ドルベ

ニヤ ニヤ

ぬちっ ぬちゃ

ソトも

くりゅ

とろぉ♡

びくんッ

ナカも

みち…っ♡

ぢゅぅっ

あとココも♡

ぢゅっ

つんっ♡

どこもかしこも感じまくっちゃってエッロいなァ♡

ああぁッ!?

ひッ

だめ、だっ待ってくれ…！

はぁっ

はすっ

ふるふる

ふるふる

もう2人にどこを触られても何をされても全部気持ちが良くてわけがわからない

あー！ベッターずるい！ボクも先輩にぎゅーってされたいです!!

ガクガク

びくんっ

よこよこ

こっこっこっこっ♡

こんなの続けられたらおかしくなってしまう…！

ぷしゅっぷしゅっ

も…っ
終わり、だ
2人、とも…っ！
ぐぐぐ
ぐぐぐ
ぐぐぐ

すごっ…ごい
かわいかった…
はぁ〜〜〜…っ
アイツ
かわいいかオレって
エグ〜
ぐったり…
はぁ
はぁ
せぇ
フキ
フキ
おーい
生きてるかァ？
ドルベちゃん
ドッ
ッ

…全く
仕方がないなキミたちは…
…やはり私は
オメーばっか気持ち良くなってて
ドーベルに嫌われちまったかもなぁ?
キミも零も、大して変わらないと思うぞベクター
そんなあ
えーん先輩ごめんなさい嫌いにならないでこっちを向いて
…私も
ちゃんと気持ちよくしてもらった
ありがとうベクター
零
そっ、それは…
ずるいですよも〜〜!!
!?
…これぱっかりはコイツに同意…
あんだけめちゃくちゃさんざんとして礼言うかって
フッーよお〜〜
終

狂気のクソ長あとがき(というか萌え語り)

推しの恥じらったり嫌がったりしてる姿に愉悦を覚えるタイプの人間なので、
エロパート描いてるときすごく楽しかったです。ぐぬぬ顔大好き。
132話愛好家として、楽しそ～に煽ってるベクターをギッ！と睨みつけるドルベの図を描けて満足。
私はドルベさんの落ち着いているところが好きなのと、
•ドルベに詰められてわたわたしてるベクター(123話)
•ドルベに「地獄まで付き合ってやる」って言われてド動揺するベクター(132話)
のシーンが死ぬほど好きなので、基本的にはドルベさんにはあんまりベクターに動じてほしくない…
というか、むしろベクターを振り回す側であってほしいと思っているんですが、
ｾｯの時だけはドルベがベクターに翻弄されててほしいという歪んだ願望を持っています。
これは普段冷静な人が快感で訳わかんなくなって余裕がなくなっていく様子にエロスを感じるため…。
それとなんかベクターってセックス巧そうだなという勝手なイメージがあり…。
手先器用だし、人の嫌がることするの得意だから…。的確に相手の嫌がるポイントがわかるってのは、
裏を返せば何されたら嬉しいかもわかってるってことなの…では…！？
あとはベクターの機嫌がコロコロ変わるところ(109話とか120話とか)かわいいなと思ってるので
不機嫌→ご機嫌、ご機嫌→不機嫌の切り替えを両方入れられたのも良かったです。
ベクターはマ～ジで描いてて楽しい。

ところでベクターは人の数だけ解釈があるキャラクターだと思う
(まあベクターに限らずどのキャラもそうだけど)んですが、
私はベクターの『加虐を愉しむ性格』に関しては全部が全部ドン千の呪いのせいじゃなくて、
本人のもつ性質なんじゃないかなーと思っているタイプです。ドン千も
「貴様にもこの王と同じ残虐なる血が流れている、それを呼び覚まし我が野望の糧となるのだ」
と言うとるし、ベクママの血が勝ってたorベクママの教育がよかったから抑え込まれてた残虐性が、
ドン千によって解放されたに過ぎないのかな～という…。
ので、あのままドン千の干渉がなく順当に育ったとしても、若干イタズラっぽい一面があったりだとか、
急にキュートアグレッションしちゃうような子だったのでは？
と思ってこの本の真月くんはそんな感じに描いてます。
ドン千のせいでよかれ→よからぬに歪められたのは確かにそれはそうなんですが、
歪んだ結果大暴れしてたのは事実だし、それを楽しんでいたのも事実だと思うんですよね。
皇子時代はともかく、バリアン時代はもう100%趣味で人に嫌がらせしてる気がするし、
わりと何しててもも楽しそうでカワイイ。
ドン千の呪いはとけてるし、最終話のベクターはかなり穏やかな顔してたので
多少丸くなってるとは思いますが、人を煽りまくる性格はそのままであってほしい。
その上で、前よりちょっとだけ素直に甘えられるようになってたらかわいいなと思ってます。

あと私はよかれにコンプレックスを持っているベクターの幻想をずっと見ています。
最終話後のベクターには、
•自分の決断(隣国との和議)が悲劇の引き金を引いたという事実による"平和の象徴"を憎む気持ち
•「何故このわしから平和の象徴のなどというくだらぬ子が生まれた？」
　と父親に言われたことから、望まれない子扱いされた悲しみ
•「お前の本当の姿は真月零なんだ！！」って遊馬に"真月(優しい皇子)"を望まれたことに対する喜び
のいろんな感情でぐちゃぐちゃになっててほしい。
そのうえで、犯した罪がデカすぎるので今更"真月"には戻れないし、
ドン千の干渉の結果だとしても、今ここにいる自分も紛れもない"ベクター"なわけで、
その自分が誰からも望まれないのもまた寂しい。
あ～も～なんかも～やってられないんだぜ！！という感じ。
ナッシュとの決戦の前に悪夢見てゼェハァしてたし、何かしらの罪悪感は
持ってると思うんですよね～…(ので冒頭でもうなされててもらった)
なんですが、ドルベは『真月』のことを知らないし、ナッシュの遺跡で皇子時代の
過去の悪行も見てるはずなのに、裏切られる直前まで「我らの力は既に一つになっているはずだが」
ってベクターのことを仲間だと認識してくれてたし、
裏切られた後も"地獄まで付き合って"くれようとしていたので、
ドルベにとってベクターは決して良いやつではないけれど、
それでもその善悪に関わらず切り捨てたりはしないんだよな～という…自分の好きポイントを
導入に詰めました。
(まあそれはそれとして英雄さんとよかれ時代の皇子に親交あったら
萌えだなとは思ってますが…それで描きたいネタもある…)

お前にも良い心はある！って肯定して、一緒にやり直そうとしてくれる遊馬と、
魂までも腐りきったか！って殺そうとするけど一緒に地獄まで付き合ってくれようとするドルベ、
どっちも救いであって欲しい。
132話のドルベの「私と共に地獄に行くぞベクター！」のシーンと、
138話の遊馬の「いいぜ真月。お前を1人になんてしない」のシーン
は"ベクターを1人にはさせない"という点でわりと似てるシーンだと勝手に思っていたりします。
まあ一方は殺そうとしてて、もう一方は救おうとしてるのでシチュエーションは
全然違うんですが…ほら…おてて繋いで地獄行き未遂なのは一緒だから…。
あの時は「さよならだ、遊馬くん」つって綺麗に死んでったけど、
ヌメロンコードで蘇ったベクターは"真月"の振る舞いをしてないので、
彼にもなんか思うところがあるのかな～と深読みめんどくさオタクはずっと考えてしまう…。
あそこで"真月"として死んでったのも、一番遊馬にダメージを与える方法をとった
(つまり最後の嫌がらせ)の可能性まである…わからない…。
あとここで遊馬に心中OKもらったことで、メラグとドルベが一緒に地獄行きしようとしてたことの
重みを改めて思い知ってくれてたら萌えだなと思っていたり。
ので私の中のヌメ後ベクターは遊馬と璃緒ちゃんとドルベさんにわりと懐いています。
(これはマジで勝手な幻想)

七皇内のベクター、普通にやってること無茶苦茶だし煽り散らかすしで普通にヤバいヤツなんですが、
ドルベはその振る舞いを見て時には苦言を呈しながらも、
裏切られる前まではベクターのことをちゃんと『仲間』だと思ってそうだったのが
個人的にめちゃめちゃ好きで…。というかベクターって自分を下に見られるのを極端に嫌う傾向にある
気がするんですけど、ドルベは割とベクターのことを対等に扱ってくれている気が…していて…。
姑息な手を、とかなんという卑劣な！って、やってることについての批判はしても、
ベクター自体をバカにする発言はなかった気がするんですよね。"地獄まで付き合ってやる"の直前で、
「テメェらの苦しむその姿！たまんねぇぜ～！w」って高笑いされてやっと
「魂までも腐りきったか！」って言ってたけど、じゃあそこまではやり方は腐ってるけど
魂というか在り方までは腐ってないと思ってたんですか？？という…。
(まあ元々「こいつ性根が腐ってるな」と感じてた上で『魂までも』腐りきったか、
の可能性の方が高い気もするが…日本語って難しい)
80話のアリト派遣後、ミザエルに「アリトでよかったのか。あんな単細胞に...」って渋い顔された時に
「まぁそう言うな。他はともかくデュエルの腕に関してはアリトは信頼できる。
少し様子を見ても悪くはあるまい」って返すシーンがスゲ～～～好きなんですが、
ドルベさんの"細かいことをあんま気にしなさそう"なとこ滅茶苦茶いいなと思っています。
"これはこれ、それはそれ"が出来るというか…悪いところがあることもちゃんと認識してるけど、
長所の方に目を向けてそこに期待するっていう。上司向いてる。
いや結果上手く行ってないのでやっぱ向いてないかも…。
ギラグにも初手で「キミは勇敢なバリアンの戦士だ。キミならばきっと…」って声かけてるし、
こう…なにかしら仕事頼む時にいつも皆のこと鼓舞してたらカワイイ。
ギラグさんも「俺が～？」ってちょっと面倒くさそうにしてたのに
何故か突然器物破損してパワーを誇示するし満更でもなさそうでカワイイ。バリアンみんなかわいい。
この鼓舞も、『おべっか使っておだてて従わせてやろう』とかそういうのではなく、
本心から言ってるのがわかるから皆ドルベさんに従ってんのかな～と思ってます。勝手に。
ドルベさんの言葉はいつだって真っ直ぐなんだよなあ！好きだ！！
自分もそういう感じを出したいと心掛けながら描いてますが伝わってたら…嬉しい…。
そしてその裏表のない態度と、何気なく発した言葉にペースを乱されつつ、
ちょっと救われるベクターという構図が好きでそればっか描いてる。
『地獄まで付き合ってやる』がプロポーズすぎるのでほんま責任とってずっと一緒にいろ……。

リンクスでベクター実装されたら、本編後時空のベクドルの新規会話が拝めるかもしれない
と思うと興奮してきたな…。まあリンクスのゼアルワールドなんか時間軸謎だし、
自分が思ってたんと違う感じ(貴様を一生許さんとか言ってバチバチにやり合ってたらどうしよう。
でもそれはそれで見たいかもしれん)で死ぬ可能性もありますが、その時は潔く黙ります。
いや逆にまた本出すかも…。ていうかまだいっぱい描きたいことあって妄想尽きなくてこわい。
次出せたらドルベさん中心のオールキャラ本出したくて～～…。
本編後のドルベさんが七皇のそれぞれとかマッハとかドロワさんとかと喋ってるだけの
短編集みたいなやつ…。気力と萌えが持続してたらまた描きたいです。
これはpixivのまとめに3P本出したいって描いたらホントに出せたので言霊として書き記しておきます…。
楽しいわ！妄想をアウトプットして形にするのが本当に楽しい！！(限界同人絵描きのアキさん)
とりとめのないあとがきまで読んでくださってありがとうございました。

よかれよからぬサンド

遊戯王ZEXAL非公式ファンブック
ベクター×ドルベ×真月

2025/03/16 発行

ばり

連絡：rev.extinction@gmail.com
印刷：オレンジ工房　様

X(旧Twitter)↓

wavebox↓

初めてエロ漫画を描きました。お楽しみいただけましたら幸いです。
waveboxのQRから一言でも感想頂けましたらとっても嬉しいです♡

自分はスケベな絵が全然描けね～～とずっと思っていたのですが、
フォロワさんのえっちな同人誌がガチで良すぎて推しカプのえっちな本最高！！！
自分も描けるようになりて～～！！になり、気づいたら本ができていました。
エロく描けたかどうかはともかく、人間やればできるんだなあ…という学びを得た。
顔もですが身体が本当に描けないので、新年から30秒ドローイングを毎日続けてみたり、
パルミーに入会したり、デッサン人形買ったりしてなんとか画力の向上を
はかろうともがいています。デッサン人形はマジで買ってよかった。
多分なかったらえっちシーンの作画できませんでした。
パルミーは原稿ギリギリスケジュールだったので殆ど触れてません。悲しい。

そもそもの発端は、日野さん×平川さんのBLCDを聞いて、
それの日野さんがわりとワンコ系年下の役で、
純粋な好意で真月にグイグイこられてたじたじになるドルベちゃんええな…
と変換してしまい、零ドル見てえ～なんならベクターも混ぜて
2人に翻弄されるやつ見たい～となったという…。
いうても話浮かばんしな～って寝かせてたら1月半ばに急に導入とオチ思いついて
勢いでネームを切り出し…そこからはかなりのスピード感でした。
ネーム完成の段階では、3月に出すのは無理だろうからゆっくりやるか～とか
思ってたんですが、最近ゆぎおにハマった友人(月影さん推し、オフイベ未経験)
に3月にアクファオンリーあるよ♡出ようよ♡と焚き付けた手前、
自分も出ねばなるまい…ということで必死こいて原稿やりました。
国超えたお友達もできて今同人人生で一番楽しいかもしれない。色んな人に感謝です。

YU-GI-OH! ZEXAL
UNOFFICIAL FANBOOK

yokare
yokaranu
sand

わるいゆめ

ぱり

バクバクとした動悸が治まらない。恨みと嘆き。自分の肩を抱いて頭を振っても、オレを非難する声がまだ聴こえる。寒くもないのに歯がガチガチと鳴って止まらない。怖い、苦しい、悲しい。母上、父上、ごめんなさ――

「ベクター。大丈夫だ。ゆっくり呼吸しろ」背中にそっと手が添えられて、その温かさで少しだけ息ができるようになる。

「はっ…は…っ！」「そうだ。それでいい」低く落ち着いた声と、規則的に背中をさする手に安堵する。こんな醜態を見られるなんて屈辱でしかないはずなのに、払いのけることすらできやしなかった。

「はー…」「落ち着いたようだな」「…ぁ…」暫くの間背をさすられ続けていたら、大分息が整ってきた。―だが、なんとなく離れ難くて、ドルベの肩に頭を押し付ける。

「…もうちょい、こうさせろ」「…ああ」柄にもないことをしていると自嘲する。でも、コイツならば。オレを嗤ったりしないだろうと、そう思ってしまったから。

「大丈夫だ。ベクター。私はここにいる」後頭部を撫でる手つきは優しく、背中に回された方の手は、宥めるようにポンポンと規則正しいリズムを刻む。まるでガキをあやすみたいな扱いに、オレはそっと目を閉じた。

――終

作家情報